

第 8 章 テストボタン機能

5400 エミュレーターのテストボタンには、ボタンを押しながら電源を入れた場合（テストボタン機能）と、動作中にボタンを入れた場合（シャットダウン機能）の 2 種類の機能を実行できます。

8.1 テストボタン機能

テストボタンを押しながら電源を入れ、約 4 秒間（「Link」「Speed」「Data」「Update」の LED が点灯するまで）押してください。全ての LED の点灯後、テストボタンを押す度に以下の各 LED の点灯・消灯が切り替わり、機能を選択出来ます。再度テストボタンを約 4 秒間押すと選択した機能が実行されます。実行中には LED が点滅し、終了すると、LED 消灯後再起動します。

LED の点灯状態				内 容
Link	Speed	Data	Update	テストモード開始状態 初期値印刷 ↓ 外字印刷 ↓ Ethernet 10M-全 2 重 ↓ Ethernet 10M-半 2 重 ↓ Ethernet オートネゴシエーション ↓ 出荷値に戻す ↓ テストモード開始状態
Link	Speed	Data	Update	テストメニュー1~6 のいずれかの状態の時、テストボタンを長押し（約 4 秒間）すると、選択されたテストメニューが実行されます。実行状態になると、点灯していた LED が点滅し、終了すると、LED 消灯後再起動します。 例) 初期値印刷時には、左図のように、初期値印刷状態の LED が点滅します。

8.1.1 初期値印刷

5400 エミュレーターの設定値を印刷します。

8.1.2 外字印刷

e-server iSeries (AS/400) からダウンロードした外字を印刷して、登録内容を確認します。

8.1.3 Ethernet 10Mbps/全 2 重通信

Ethernet の設定を 10MBps/全 2 重通信にします。

8.1.4 Ethernet 10Mbps/半 2 重通信

Ethernet の設定を 10MBps/半 2 重通信にします。

8.1.5 Ethernet 自動検出

Ethernet の設定を 10MBps・100MBps/全・半 2 重通信を自動検出モードにします。

8.1.6 出荷値に戻す

5400 エミュレーターの設定値を出荷値に戻します。

8.2 シャットダウン機能

5400 エミュレーターの動作中に、テストボタンを約 4 秒間（「Link」「Speed」「Data」「Update」の LED が順に点滅するまで）押すと、シャットダウン処理が実行されます。この機能を実行すると、ネットワークの切断処理を行った後、カードの動作が停止状態になります。次にご使用になる時には、一度電源を切断していただく必要があります。

第9章 ユーザー定義文字のロード (Telnet5250E 接続)

ユーザー定義文字を使用するには、ユーザーが e-server iSeries (AS/400) 上で文字作成ユーティリティ (CGU) を使用して作成したユーザー定義文字セットを 5400 エミュレーターへロードしておく必要があります。

ユーザー定義文字をロードするには、ロード・ユーティリティが必要となります。(ロード・ユーティリティは、IBM の Web サイトからダウンロードして入手することができます。)

参考資料：

ADTS/400 文字作成ユーティリティ (CGU) 資料番号：SC88-5196

ユーザー定義文字セット

ユーザー定義文字セットは、お客様が CGU で作成するもので、CGU は 24 ドット x24 ドットおよび、32 ドット x32 ドットの 2 種類の文字セットをサポートしています。5400 エミュレーターでは、24 ドット x24 ドットのユーザー定義文字のみサポートしています。

5400 Emulator では、4370 文字までロードが可能です。

LODPPW (文字ロード) コマンド

ユーザー定義文字セットをロードするには、LODPPW コマンドを使用します。コマンド・パラメータ、コマンドの入力方法については、54 ページの『LOPPW コマンドの入力例』を参照してください。

コマンド・パラメーター

文字ロードコマンド・パラメータは、次のとおりです。(文中で下線が引かれた値が省略時の値です。)

DEV パラメータ	出力する印刷記述名を指定します。
<u>*FILE</u>	出力装置は、APW/APPW 用印刷装置ファイル (QPPPPRT) に指定されている印刷記述名と同じであることを示します。
*JOB	現ジョブに割り振られた印刷装置に出力します。
*SYSVAL	システム値に設定された印刷装置に出力します。
*出力装置名	出力する印刷装置記述名を指定します。

補足：印刷装置ファイル QPPPPRT が SPOOL=*NO で指定されている時に、DEV パラメータに *FILE を指定すると、エラー・メッセージ「APP5101 印刷装置ファイル QAPS/QPPPPRT がオープンできない」が表示され、ロードできません。その場合は、'OVRPRTF FILE (QPPPPRT) SPOOL (*YES) 'と入力後、LODPPW コマンドを実行してください。

IGCSIZE パラメーター	文字セットの大きさを指定します。大きさは、次の 3 種類がありますが、ここでは、24 を指定してください。
24	24 ドット x24 ドット
32	32 ドット x32 ドット
40	40 ドット x40 ドット

OPTION パラメータ	以前にロードした文字セットを削除するかどうかの指定です。
<u>*LOAD</u>	新しい文字セットをロードする場合に指定します。

*CLEAR 以前にロードした文字セットを削除する場合に指定します。

補足：新しい文字セットをロードするときには、OPTION パラメータを*CLEAR に指定して、以前にロードした文字セットを削除したあと、OPTION パラメータを*LOAD に指定して新しい文字セットをロードしてください。

RANGE パラメーター ロードする文字の範囲を開始番号・終了番号で指定します。

開始番号・終了番号とは、DBCS フォント・テーブル上のユーザー定義文字エン트리番号を指定します。例えば、最初のユーザー定義可能な IBM 漢字コード'6941'は、エン트리番号1になります。下記に IBM 漢字コードとエン트리番号の関係を示します。

エン트리番号	IBM 漢字コード
1	6941
2	6942
3	6943
・	・
・	・
・	・
4370	・

ロード可能な文字数には、制限があります。指定しない場合は、全てのユーザー定義文字がロードされます。4370 文字を超える文字が送られた場合、登録可能な文字数を超えるユーザー定義文字は、読み捨てられます。

*FIRST DBCS フォント・テーブル上の最初のユーザー定義文字を示します。

*LAST DBCS フォント・テーブル上の最後のユーザー定義文字を示します。

コマンドの入力

LODPPW コマンドは、次のどちらかの方法で入力してください。

- コマンド入力行またはプログラマー・メニューで選択項目 5 を選択後、パラメータ付きのコマンド全体を入力します。
- LODPPW を入力し、**F4** キーを押します。

LODPPW コマンド入力例

1. LODPPW コマンドの出力先がスプール・ファイルであることを確認します。必要に応じて次のように OVRPRTF コマンドを実行し、出力先がスプール・ファイルになるように印刷装置ファイルを一時変更します。
OVRPRTF FILE (QPPPPRT) SPOOL (*YES)
2. 次のように LODPPW コマンドを実行して、ユーザー定義文字データを含んだスプール・ファイルを作成します。必要に応じて他のパラメータも指定します。通常、作成されるスプール・ファイル名は QPPPPRT となります。
LODPPW IGCSIZE (24)
3. 上記の手順 1 で印刷装置ファイルを一時変更した場合は、その設定を解除します。
DLTOVR FILE (QPPPPRT)
4. ユーザー定義文字をロードする 5400 エミュレーターに、作成したスプール・ファイルを出力します。ユーザー定義文字のロードが正常に終了すると、白紙が紙送りされます。
5. 5400 エミュレーターを再起動します。

第 10 章 5400 プリンターとの相違点

本製品を 5579-L02、5577-W02/V02 プリンターと接続してお使いになる場合に、以下の点につきまして、ご注意ください。

- バーコード印刷を行う場合、5400 プリンターでの出力結果と比較し、大きさが異なる場合があります。
- バーコードを縦書き印刷した場合には、HRI は印刷されません。
- e-server iSeries (AS/400) から印刷する場合、Code39 バーコードの Start/Stop Code を表す HRI (Human Readable Information) は、必ず印刷されます。
- e-server iSeries (AS/400) から、APW を使用してバーコードを印刷する場合、ページの 1 行目にバーコードを印刷することは出来ません。
- e-server iSeries (AS/400) と接続して SCS データストリーム印刷を行う場合には、単票・連続紙の切り替えは、オペレータパネルからの単/連切り替えボタンからのみ行うことが可能です。
- 5400 プリンターに搭載されている「半角 Condensed 18 CPI Font」「8LPI 専用フォント」は使用できません。
- 角外文字（□の中に“外”が印刷される文字。外字エリアの文字を印刷する時に印刷される文字）は印刷されません。
- 拡大文字倍率は、5579-L02、5577-W02/V02 プリンターの制約により 5400 エミュレーターでは、16x16 迄です。
- 5400 プリンターでの超高速印刷は、5400 エミュレーターでは使用できません。
- コピー強化を指定する印刷速度設定コマンドは使用できません。